01 接続の準備をする

Chromeでチャッピーが通信できないときは、
この冊子を1頁から順番に試してください。



用意するもの

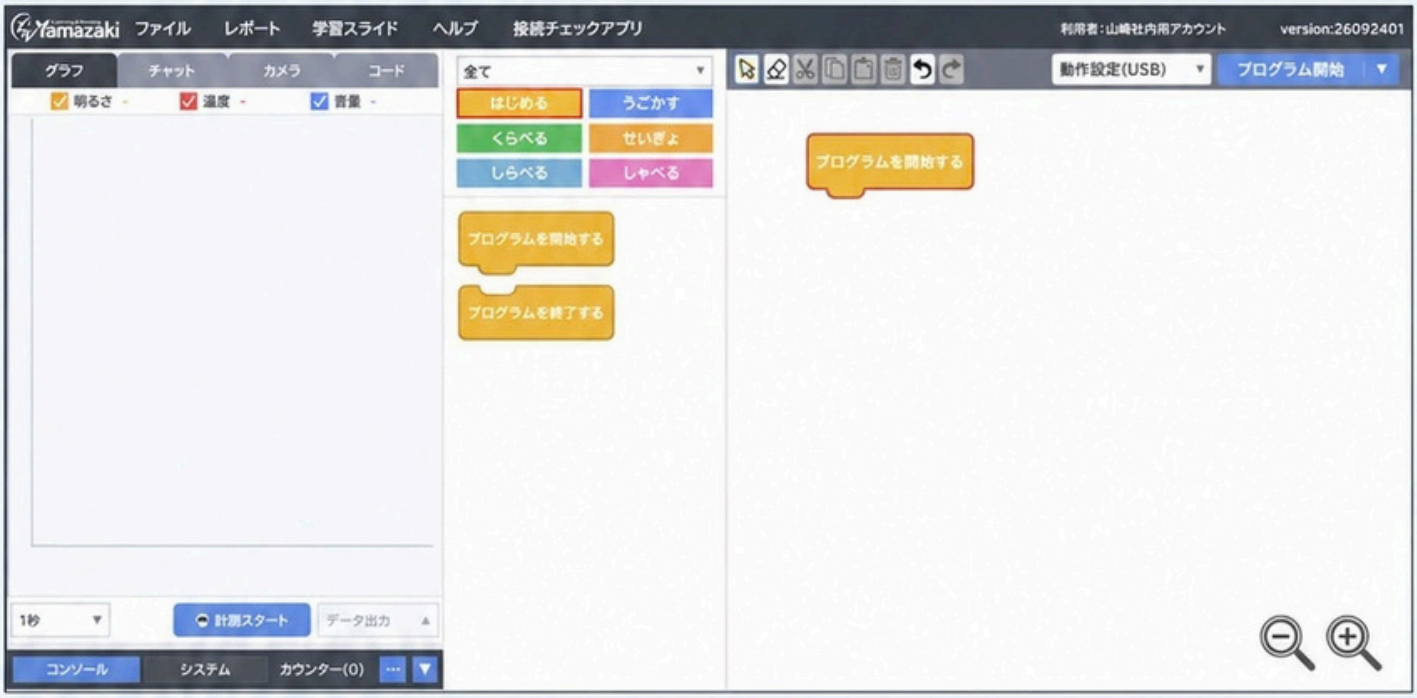
タブレット(PC)、チャッピー本体、データ通信できるUSB-C–USB-Cケーブル。

A 本体とタブレットをつなぐ

本体の電源を入れ、USBケーブルで接続します。
差し込みが緩くないか、両端を確認します。

B Chromeで教材Webアプリを開く

下のようなチャッピーの画面を開きます。
アプリのインストールは不要です。



ご提供のアプリ起動画面

この画面が開けない場合

先生とインターネット接続・Chromeを確認し、
開けなければ学校のサポート窓口へ相談します。

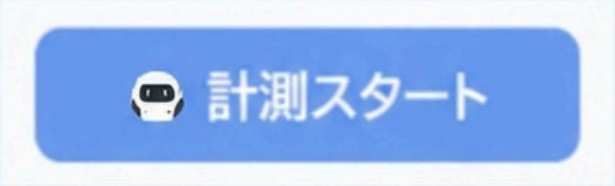
画面が開いたら、2頁へ。 ›

02 計測して、通信を確かめる

ここで「正常につながった状態」を確認します。

A 「計測スタート」を押す

アプリ画面の左下にあります。



B 本体を選んで「接続」を押す

一覧の「Chappy-v01」をクリックし、
右下の「接続」を押します。

一覧が出ない・本体がない・接続できない場合は3頁へ。



C グラフの線を確認する

波形とは、グラフに表れる線のことです。
下の例のように線が表示され、計測が続けば
通信できています。
温度などの線は横一直線のこともあります。
数値がこの例と同じになる必要はありません。



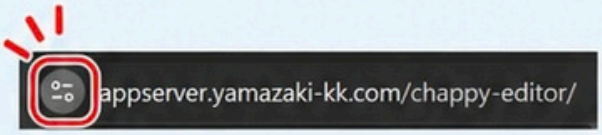
計測できたら終了。
線が出ない・計測が続かない場合は3頁へ。

03 このサイトのUSB許可を確認

アプリから本体へ接続を要求できる設定にします。

A URLの左のアイコンを押す

チャッピーを開いたまま、
「サイト情報を表示」をクリックします。



B 「USB デバイス」があればON

OFFならONにします。すでにONならそのまま。
これは接続要求の許可で、通信成功の表示ではありません。



項目が見当たらない場合

「サイトの設定」からUSBデバイスを確認します。
接続要求を許可する設定にし、このサイトのブロックも確認します。
別の確認経路：右上の設定 → プライバシーとセキュリティ → サイトの設定 → その他の権限 → USB デバイス。

C 2頁のA→B→Cをもう一度行う

設定後、再読み込みの案内が出たら、作品を保存して再読み込み。
「計測スタート」→ 本体を選択 →「接続」→ グラフを確認します。

変更できない場合

灰色の設定や「組織によって管理」などの表示がある場合は、
自分で解除せず7頁の管理担当へ相談します。

計測できたら終了。改善しなければ4頁へ。

04 別のUSB端子に差し替える

端子とは、ケーブルを差し込む場所です。
複数ある場合は、今とは別の端子を試します。

A タブレット側だけを抜く

チャッピー本体とケーブルは、そのままにします。

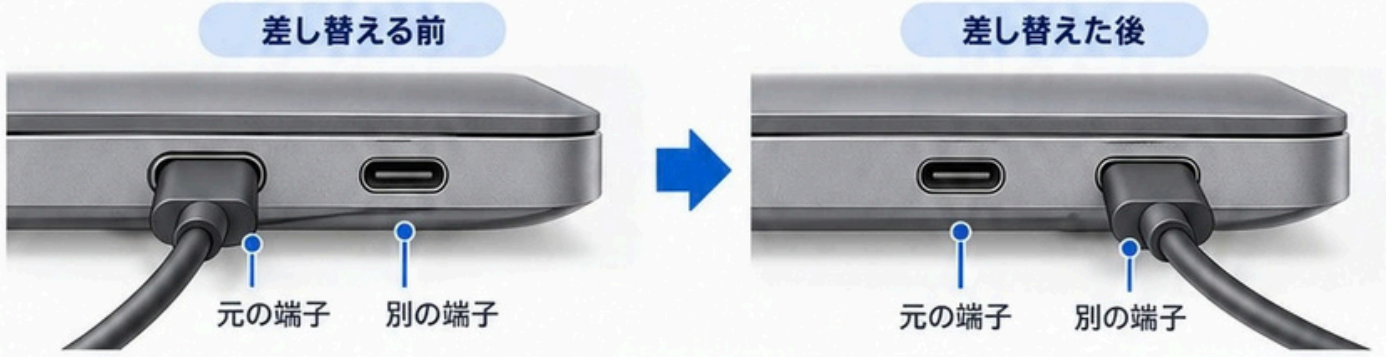
B 同じケーブルを別の端子へ

変えるのは差し込み口だけです。
USBハブ（差し込み口を増やす機器）を使っている場合は、
接続できる組み合わせでタブレットへ直接つなぎます。

C 2頁のA→B→Cで計測する

「計測スタート」→ 本体を選択 →「接続」→ グラフを確認。
別の端子がなければ、この確認は飛ばして5頁へ。

端子を替える模式図（機種で位置・機能は異なります）



USB-Cでも、給電だけの場合があります

USB-Cは端子の形の名前です。形だけでは通信できるか分かりません。
特にUSBハブには給電専用の差し込み口があります。
タブレット本体の端子も、機種の説明書でデータ通信対応を確認します。
充電マークだけで判断せず、分からなければ管理担当へ。

別の端子で計測できたら、その端子を使います。改善しなければ5頁へ。

05 ケーブル、本体を順番に替える

一度に替えるのは一つだけ。
チャッピーで通信できた物が用意できる場合に試します。

A まず、ケーブルだけ替える

同じタブレット・同じUSB端子・同じ本体を使い、
通信できたUSB-C–USB-Cケーブルに替えます。
2頁のA→B→Cで計測します。

交換の模式図



同じタブレット・本体はそのまま

B 次に、チャッピー本体だけ替える

Aで使ったケーブル・タブレット・USB端子はそのまま。
通信できたチャッピー本体に替え、電源を入れます。
2頁のA→B→Cで計測します。



チャッピー本体

→ **別の本体に替える**

交換で計測できた場合
替える前のケーブル、または本体を確認します。
交換だけで故障と断定せず、教材の担当者へ相談してください。

替える物が用意できない場合
無理に購入せず、この確認を飛ばして6頁へ進みます。

計測できたら終了。改善しなければ6頁へ。

06 開き直して、最後にもう一度

一時的な不調かどうかを確認します。

A 作ったプログラムを保存する

再読み込みや再起動の前に保存します。



B チャッピーを開いた他のタブを閉じる

タブとは、ブラウザ上部に並ぶページの見出しです。
別のタブやウィンドウでも開いていたら閉じ、1つだけ残します。

手順の模式図



C タブレットを再起動する

作品の保存を確認してから、いつもの方法で再起動します。
起動後にChromeでチャッピーを開き、本体を接続します。



D 2頁のA→B→Cで計測する

「計測スタート」→ 本体を選択 →「接続」→ グラフを確認。
計測できたら、この確認は終了です。

別のタブレットが使える場合だけ

同じ本体・同じケーブルを、別のタブレットにつないで計測します。
別の端末で動くかどうかも、相談時に伝えられます。
使えなければ、この確認は省略して構いません。

改善しなければ、繰り返さず7頁の相談先へ。

07 解決しないときは管理担当へ

試した操作と結果を伝え、管理設定も確認してもらいます。

A まず、学校で指定された相談先へ

校内のICT担当、ICT支援員、ヘルプデスクなどへ連絡します。
必要に応じて教育委員会・自治体の端末管理担当や委託業者へつなぎます。
窓口の名称・連絡経路は学校や自治体によって異なります。



B 伝え方の例

「授業で、タブレットのChromeで開く教材Webアプリから、
ロボット『チャッピー』を動かしたいのですが、通信できません。
アプリの『計測スタート』を押し、本体を選んで『接続』を押しても、
グラフに線が表示されません。
サイトのUSB許可、別のUSB端子、通信できたケーブル・本体への交換、
タブレットの再起動を確認しましたが、改善しませんでした。
端末やChromeの管理設定でUSB通信が制限されていないか、
データ通信できるUSB端子かも含めて確認をお願いします。」

書き換え例

このまま使わず、
ご自身の状況に合わせて
書き換えて使います。
できなかった確認は
削除してください。

C 実際に試したことだけを伝える

上の例は書き換えて使います。できなかった確認は削除してください。
本体一覧が出ない・Chappy-v01がない・接続後も線が出ないなど、
実際に止まったところを具体的に伝えます。



D 管理設定の変更は管理担当の作業

学校の制限がある場合、先生の通常操作では変更できません。
制限が原因と決めつけず、機器やアプリ側の問題も含めて調べてもらいます。



ここまでで確認は終了。
管理担当の回答・案内に従います。